

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月12日
【四半期会計期間】	第19期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社フォーバルテレコム
【英訳名】	FORVAL TELECOM, INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 谷井 剛
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田錦町三丁目26番地
【電話番号】	03(3233)1301
【事務連絡者氏名】	取締役 山本 忠幸
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田錦町三丁目26番地
【電話番号】	03(3233)1301
【事務連絡者氏名】	取締役 山本 忠幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第18期 第3四半期連結 累計期間	第19期 第3四半期連結 累計期間	第18期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	8,910,075	9,026,423	11,990,464
経常利益(千円)	314,031	297,174	438,402
四半期(当期)純利益(千円)	202,660	200,494	269,717
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	205,535	201,091	272,982
純資産額(千円)	1,701,612	1,719,751	1,769,058
総資産額(千円)	5,254,038	5,071,444	5,171,267
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	12.14	12.01	16.16
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	32.2	33.7	34.0

回次	第18期 第3四半期連結 会計期間	第19期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	7.02	4.99

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績の状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府・日本銀行による脱デフレ・景気回復策への期待感と円安の進行による輸出関連企業の業績回復傾向などから、株式相場が活況を呈するなど景況感明るさを増したものの、実態経済が回復基調に転ずるまでには至りませんでした。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、スマートフォン・タブレット端末の急激な普及に伴い、増加したデータ量への対応が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、おとくライン、FMC（Fixed Mobile Convergence）サービス等「IP & Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である㈱FISソリューションズにおいては、光ファイバー対応IP電話「FTフォン（スマートひかり）」、法人を対象とした「おとくライン」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「ツーウェイスマート」を中心に、インターネットサービス、情報通信機器販売等を提供しております。

当社連結子会社である㈱トライ・エックスを中心とするセグメントでは、当社サービスの利用顧客からのニーズが強い「ドキュメント・ソリューション」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である㈱保険ステーションにおいては、当社サービスを利用している顧客へ「コンサルティング」を提供しております。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が90億26百万円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益が3億5百万円（前年同四半期比2.1%減）、経常利益が2億97百万円（前年同四半期比5.4%減）、四半期純利益が2億円（前年同四半期比1.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### IP & Mobileソリューション事業

「IP & Mobileソリューション事業」におきましては、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は64億14百万円（前年同四半期比6.4%減）、セグメント利益は52百万円（前年同四半期比65.1%減）となりました。

#### ドキュメント・ソリューション事業

「ドキュメント・ソリューション事業」は、普通印刷、印刷物のプランニング・デザイン等を行っております。当第3四半期連結累計期間の売上高は12億60百万円（前年同四半期比3.6%増）、セグメント利益は1億23百万円（前年同四半期比12.3%増）となりました。

#### コンサルティング事業

「コンサルティング事業」は、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を行っております。当第3四半期連結累計期間の売上高は13億40百万円（前年同四半期比62.1%増）、セグメント利益は1億37百万円（前年同四半期比90.3%増）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は50億71百万円となり、前連結会計年度末比99百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の増加（1億16百万円）及び受取手形及び売掛金の減少（3億26百万円）によるものであります。

負債の残高は33億51百万円となり、前連結会計年度末比50百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少（2億7百万円）、短期借入金の増加（3億72百万円）及び未払法人税等の減少（52百万円）によるものであります。

少数株主持分の残高は9百万円となりました。また、純資産の残高は17億19百万円となり、前連結会計年度末比49百万円の減少となりました。これは主に、四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	66,000,000
計	66,000,000

(注)平成25年8月20日開催の取締役会決議により、平成25年10月1日付で株式分割に伴う定款の変更を行い、発行可能株式総数は65,340,000株増加し、66,000,000株となっております。

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	16,693,200	16,693,200	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数 100株
計	16,693,200	16,693,200	-	-

(注)平成25年8月20日開催の取締役会決議により、平成25年10月1日をもって1株を100株に株式分割し、これに伴い発行済株式総数が16,526,268株増加しております。また、1単元の株式数を100株とする単元株式制度を採用しております。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日(注)	16,526,268	16,693,200	-	542,354	-	42,353

(注)平成25年8月20日開催の取締役会決議により、平成25年10月1日をもって1株を100株に株式分割し、これに伴い発行済株式総数が16,526,268株増加しております。

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 166,932	166,932	
単元未満株式			
発行済株式総数	166,932		
総株主の議決権		166,932	

1. 当社は平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施し、1単元の株式を100株とする単元株式制度を採用しております。なお、上記は分割前の株式数で記載しております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
計					

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	996,856	1,113,771
受取手形及び売掛金	1,912,791	1,586,481
商品及び製品	75,396	46,201
仕掛品	77,444	60,459
原材料及び貯蔵品	6,060	6,723
その他	661,723	803,119
貸倒引当金	22,390	12,680
流動資産合計	3,707,883	3,604,076
固定資産		
有形固定資産	740,947	695,594
無形固定資産		
のれん	91,911	76,820
その他	106,210	115,029
無形固定資産合計	198,121	191,850
投資その他の資産		
その他	572,170	644,265
貸倒引当金	48,371	64,341
投資その他の資産合計	523,798	579,923
固定資産合計	1,462,868	1,467,367
繰延資産		
社債発行費	515	-
繰延資産合計	515	-
資産合計	5,171,267	5,071,444
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,386,888	1,179,729
1年内償還予定の社債	300,000	-
短期借入金	198,996	571,498
未払金	772,897	767,955
未払法人税等	73,362	20,663
賞与引当金	74,350	28,980
役員賞与引当金	14,000	17,700
その他	261,320	311,883
流動負債合計	3,081,815	2,898,410
固定負債		
長期借入金	104,672	270,175
退職給付引当金	105,056	112,113
その他	110,664	70,993
固定負債合計	320,393	453,281
負債合計	3,402,208	3,351,692

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,175,243	1,125,339
株主資本合計	1,759,951	1,710,047
少数株主持分	9,107	9,704
純資産合計	1,769,058	1,719,751
負債純資産合計	5,171,267	5,071,444

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	8,910,075	9,026,423
売上原価	7,135,270	7,128,683
売上総利益	1,774,805	1,897,740
販売費及び一般管理費	1,462,788	1,592,316
営業利益	312,017	305,423
営業外収益		
受取利息	3,412	169
持分法による投資利益	8,155	-
違約金収入	5,005	3,821
その他	6,152	8,067
営業外収益合計	22,725	12,058
営業外費用		
支払利息	13,281	10,710
持分法による投資損失	-	5,997
その他	7,430	3,599
営業外費用合計	20,711	20,307
経常利益	314,031	297,174
特別利益		
固定資産売却益	151	-
資産除去債務消滅益	3,109	-
投資有価証券売却益	-	12,886
その他	181	-
特別利益合計	3,442	12,886
特別損失		
貸倒引当金繰入額	-	24,650
固定資産売却損	-	27
減損損失	-	30,670
本社移転費用	14,734	-
その他	15,505	5,902
特別損失合計	30,239	61,250
税金等調整前四半期純利益	287,233	248,810
法人税、住民税及び事業税	64,526	23,325
法人税等調整額	19,731	24,393
法人税等合計	84,257	47,719
少数株主損益調整前四半期純利益	202,976	201,091
少数株主利益	315	596
四半期純利益	202,660	200,494

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	202,976	201,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,559	-
その他の包括利益合計	2,559	-
四半期包括利益	205,535	201,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	205,220	200,494
少数株主に係る四半期包括利益	315	596

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	117,093千円	106,112千円
のれんの償却額	17,090	15,090

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月21日 定時株主総会	普通株式	133,545	800	平成24年3月31日	平成24年6月22日	利益剰余金
平成24年11月12日 臨時取締役会	普通株式	116,852	700	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月20日 定時株主総会	普通株式	133,545	800	平成25年3月31日	平成25年6月21日	利益剰余金
平成25年11月12日 臨時取締役会	普通株式	116,852	700	平成25年9月30日	平成25年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,856,259	1,217,210	826,672	8,900,142	9,933	8,910,075
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,875	6,768	16,542	34,186	-	34,186
計	6,867,135	1,223,979	843,214	8,934,329	9,933	8,944,262
セグメント利益	151,259	110,397	72,373	334,030	685	333,345

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業を含んでおりま  
す。なお、平成24年3月31日に「ドキュメント・ソリューション事業」に含まれている当社の連結子会社の  
株式会社新英のドキュメント・ソリューション事業を第三者に事業譲渡し、平成24年12月1日に同社を当社  
に吸収合併いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主  
な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	334,030
「その他」の区分の利益	685
セグメント間取引消去	6,237
のれんの償却額	15,090
四半期連結損益計算書の営業利益	312,017

当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,414,185	1,260,452	1,340,086	9,014,723	11,700	9,026,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,933	6,410	4,837	23,180	-	23,180
計	6,426,118	1,266,862	1,344,923	9,037,904	11,700	9,049,604
セグメント利益	52,722	123,991	137,725	314,439	5,598	320,037

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	314,439
「その他」の区分の利益	5,598
セグメント間取引消去	476
のれんの償却額	15,090
四半期連結損益計算書の営業利益	305,423

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「IP&Mobileソリューション事業」セグメントにおいて遊休資産の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において25,398千円であります。

また、「コンサルティング事業」セグメントにおいてソフトウェアを減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において5,271千円であります。

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日 )	当第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日 )
1 株当たり四半期純利益金額 ( 円 )	12.14	12.01
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益金額 ( 千円 )	202,660	200,494
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 ( 千円 )	202,660	200,494
普通株式の期中平均株式数 ( 株 )	16,693,200	16,693,200

- ( 注 ) 1 . 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2 . 当社は平成25年10月 1 日付で普通株式 1 株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益金額を算定しております。

( 重要な後発事象 )

当第 3 四半期連結会計期間 ( 自平成25年10月 1 日 至平成25年12月31日 )  
該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年11月12日開催の臨時取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- ( イ ) 中間配当による配当金の総額.....116,852千円  
( ロ ) 1 株当たりの金額.....700円00銭  
( ハ ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月10日

( 注 ) 平成25年 9 月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月10日

株式会社フォーバルテレコム

取締役会 御中

### 優成監査法人

指定社員  
業務執行社員  
公認会計士 須永 真樹 印

指定社員  
業務執行社員  
公認会計士 小野 潤 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フォーバルテレコムの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フォーバルテレコム及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。